

令和 5年度 自己評価表

1 教育・保育理念

乳幼児期は、人間として心と身体の基礎のできる大切な時期です。子供達は人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、育てられるように、よい環境のなかで保育をします。

教育・保育方針

健全な心と身体の発達を促す保育を実施します。

教育・保育目標

○自然を大切に親しむ ○人の話を聞いて理解する ○自分で考えて行動する
○たのしい心と身体をつくる ○挨拶ができる

2 自己チェックリスト

十分できている4 ほぼできている3 やや不十分である2 不十分である1

		自己評価時期		
		6月	11月	2月
1	社会人として、身なりに気をつけている	3.6	3.6	3.8
2	時間を厳守し、行動5分前には所定の場所で仕事の準備が来ている	3.4	3.6	3.8
3	書類の提出期限をきちんと守っている	3.8	3.8	3.8
4	きちんと立ち止まって挨拶をしている	3	3.2	3.2
5	上司・同僚などへの報告・連絡・相談を心掛け実践している	3	3	3.4
6	掃除・雑用などを率先して行っている	3.2	3.25	3.4
7	身の回りや自分の担当場所の整理整頓をしている	3.8	3.8	3.6
8	体調管理に気を付けている	3	3.6	3.2
9	教育・保育理念を理解し5つの保育目標が言える	3	3.6	3.6
10	自分の担当する年齢の身体的発達や行動を理解している	2.8	2.6	3.2
11	子供の発見や言葉を受け止め、子供と一緒に思いを共有できている	3	3	3.4
12	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止の言葉を不必要に用いないようにしている	2.8	2.8	2.6
13	「出来ない」「やって」など言う子どもに対して、子どもの状況に応じて対応し子供が自分で出来る事を増やすように関わっている	2.8	3	3.2
14	子供が安心して話したくなるような雰囲気を持っている	2.6	2.8	3.2
15	子どもの様々なサインを見逃さず声をかけたり見守ったりしている	2.6	2.8	3.2
16	遊びに入れない子供には、声をかけ、他児と遊べるよう仲立ちをしている	2.6	3	3.4
17	喧嘩の場面では、状況を適切にとらえ、双方の思いを大切にしてい対応している	3	3.2	3.4
18	年齢に応じた社会的ルールを身につけていけるように対応している	2.8	3	3
19	突発的な状況に対して適切な対応が来ている	2.4	2.6	2.8
20	子供の様子を見ながら遊び込める環境を用意している	2.2	2.4	3
21	保護者に子供のことをたくさん話している	1.8	3	3
22	保護者からクレームや苦情があった時はまず保護者の声に耳を傾け解決しようとしている	2.6	2.6	3
23	分からないことをそのままにせず、先輩や上司に尋ねて解決に導いている	3.2	3.2	3.6
24	子供の姿を職員同士で話し合い色々な視点から子供を見ることが出来てい	2.8	3.2	3.2
25	連絡帳や個人記録票にはその子自身の育ちを書くことが出来る	2.2	2.8	2.8
26	自分の役割を認識し与えられた仕事をきちんとやり遂げている	2.8	2.8	3.2
27	季節の歌を子供達と一緒に歌ったりピアノで弾いたりする事が出来る	2.4	2.8	3
28	アレルギー児に対して誤食しないよう細心の注意をはらっている	3.4	3.6	3.4
29	YYプロジェクトについて理解している	2.4	2.8	3
30	自分自身が楽しんで保育をしている	3.2	3.2	3.4

3 自己評価について

今年度、改めて教育・保育要領を読み直し、改めて評価項目を定めた。このことにより、昨年度との比較容易でない項目があるが、今後一定期間はこの項目で自己評価を行う。

年度当初の自己評価結果に基づき、一年間を通した資質向上計画を立てて必要な研修やOJTで意識し取り組む事項を保育教諭、主幹保育教諭、園長で共有。処遇改善Ⅱに係るキャリアアップ研修が一昨年に予定をクリアしているが、コロナ禍明けで増えた対面研修への参加やOJTを通して、年度の後半に向かい自己評価が向上した項目が多くみられた。

4 今後取り組むべき課題

新入職員のキャリアアップ研修参加が滞っているため、若手職員の計画的な研修参加により、自己評価を向上して貰おう。